

# 北九州埠頭株式会社

## I 法人の概要（令和3年4月1日現在）

### 1 所在地

北九州市門司区本町2番10号 サンリヤン門司港2F

### 2 設立年月日

昭和32年10月30日

### 3 代表者

代表取締役社長 上田 浩（令和3年6月17日就任）

### 4 資本金

10,000千円

### 5 北九州市の出資金

5,120千円（出資の割合 51.2%）

### 6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	8人	0人	2人	6人
常 勤	3人	0人	2人	1人
非常勤	5人	0人	0人	5人
社 員	42人	0人	0人	42人

### 7 市からのミッション

- ① ガントリークレーン等の港湾施設のメンテナンス業務について、ノウハウの蓄積や人材の育成を行いながら、市に替わって実務を担うことで、港湾施設の24時間365日の安定稼働を実現し、信頼性の高い港湾運営に貢献する。
- ② 第3セクターの強みを活かし、国の制度に基づいた埠頭運営の効率化に向けて、中心的な役割(人材育成など)を担っていく。
- ③ これまで培ってきた高度なメンテナンス技術を活かし、地場企業の不得意分野に対する技術協力を推進し、地域産業の振興、競争力強化に貢献する。

## II 令和2年度事業実績

北九州埠頭株式会社は、北九州港の効率的な運営を図り、その機能を最高に発揮させることを目的として、各種港湾施設の管理運営、維持管理業務等の事業を行っている。

令和2年度の業績概要は、総収入 581,949,456 円、総支出 570,733,018 円、税引前当期純利 11,216,438 円となった。

## 1 受託事業について

令和2年度は、

- ・港湾施設指定管理業務
- ・港湾施設管理運營業務

を北九州市から受託して実施した。

本市の指導の下、業務の円滑な遂行と港湾施設の効率的な運営、安全性の確保、港湾利用者の利便性の向上に努めながら、業務を遂行した。

## 2 自主事業について

令和2年度は、

- ・新門司マリーナ施設運營業務
- ・田野浦埠頭荷さばき施設管理業務
- ・船舶給水販売業務
- ・若松月極駐車場業務

等を実施した。

主要自主事業の概況は次のとおり。

### 【新門司マリーナ施設運營業務】

当施設の収支向上を図るため、平成22年度から入会時の契約保証金の無料化、新料金制度の導入等を実施し、艇置隻数の増加策を講じてきた。

令和2年度は、舟艇の保管料が前期比約5%の増収、クラブハウス賃貸によるテナント収入が約2%の増収、ビジター利用料や上下架施設の施設利用料収入が約15%の減収となっており、事業全体で約2.1%の増収となった。

### 【田野浦埠頭荷さばき施設管理業務】

平成22年度から岸壁と荷さばき地を一体的に運営する田野浦特定埠頭運營業務を行ってきたが、港湾法改正により、特定埠頭運營業務として継続することが出来なくなったため、令和2年4月1日から、「田野浦埠頭荷さばき施設管理業務」として、これまでと違う形での運用を行っている。

事業収入は、前期比70.4%の大幅な減少となったが、経営に大きな影響を与えないよう、他の業務の拡大、収益性の向上などを図ることで、軽微な影響に留めた。

### 【船舶給水販売業務】

田野浦1号岸壁～8号岸壁への接岸船舶を対象に、給水販売を行った。

令和2年度は、着岸する船舶が増加し、給水量も増加したため、約44.4%の増収となった。

【若松月極駐車場業務】

平成 23 年度から、料金の見直しや駐車場舗装路面の整備等を行い、契約台数の拡大を図ってきた。

令和 2 年度の契約台数実績は、140 台であった。利用者の増加により、収入は約 6.0%の増収となった。

3 部門別収入実績

事業別	部門別	収入	収入比率
受託事業	港湾施設指定管理業務	426,579,552 円	73.30%
	港湾施設管理運営業務	67,215,317 円	11.55%
	合 計	493,794,869 円	
自主事業	新門司マリーナ施設運営業務	51,216,034 円	8.80%
	リサイクルポート施設運営業務	1,600,315 円	0.27%
	田野浦埠頭荷さばき施設管理業務	6,791,000 円	1.17%
	船舶給水販売業務	7,150,682 円	1.23%
	若松月極駐車場業務	7,778,741 円	1.34%
	その他業務	11,988,710 円	2.06%
	経営委任施設管理運営業務	59,292 円	0.01%
	合 計	86,584,774 円	
営業収入合計		580,379,643 円	
営業外収益他		1,569,813 円	0.27%
総 合 計		581,949,456 円	100.00%

### Ⅲ 令和2年度決算

#### 1 貸借対照表(総括表)

令和3年3月31日現在(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
1 流動資産	510,364,000	1 流動負債	119,938,271
現金及び預金	481,861,997	1年以内返済長期借入金	238,000
未収金	14,114,451	未払金	81,711,693
貯蔵品	13,878,580	前受金	18,437,550
前払費用	508,972	預り金	113,028
		未払法人税等	2,401,800
		賞与引当金	8,522,000
		未払消費税等	8,514,200
2 固定資産	76,091,435		
(有形固定資産)	72,925,825		
建物	126,977,759		
建物付属設備	33,250,912		
構築物	20,296,924	2 固定負債	88,467,074
車両運搬具	31,376,970	退職給付引当金	88,467,074
工具・器具・備品	22,683,820		
リサイクルポート施設	47,600,000		
田野浦特定埠頭施設	51,300,952		
減価償却累計額	▲260,561,512	負債の部合計	208,405,345
(無形固定資産)	709,150	(純資産の部)	378,050,090
電話加入権	62,000	1 株主資本	
ソフトウェア	647,150	(資本金)	10,000,000
(投資その他の資産)	2,456,460	(利益剰余金)	368,450,090
敷金	2,334,120	利益準備金	2,500,000
預託金	122,340	繰越利益剰余金	365,950,090
		(自己株式)	▲400,000
		純資産の部合計	378,050,090
資産の部合計	586,455,435	負債及び純資産の部合計	586,455,435

2 損益計算書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日 (単位：円)

科 目	金 額	
<b>(営業損益の部)</b>		
1 売上高		
指定管理業務収入	426,579,552	
港湾施設管理運営業務受託料	67,215,317	
燐鉱石業務収入	59,292	
船舶給水収入	7,150,682	
駐車場収入	7,778,741	
マリーナ保管料	34,383,491	
マリーナテナント料	12,635,393	
マリーナ施設利用料	4,197,150	
リサイクルポート施設料	1,600,315	
田野浦埠頭荷さばき施設収入	6,791,000	
その他業務収入	11,988,710	580,379,643
2 売上原価	269,392,808	269,392,808
3 販売費及び一般管理費	301,298,211	301,298,211
営 業 利 益		9,688,624
<b>(営業外損益の部)</b>		
1 営業外収益		
受取利息	926	
雑収入	1,568,887	1,569,813
2 営業外費用		
支払利息	30,983	
雑 損	11,015	41,998
経 常 利 益		11,216,439
<b>(特別損益の部)</b>		
1 特別損失		
固定資産除却損	1	1
税 引 前 当 期 純 利 益		11,216,438
法人税・住民税及び事業税		5,290,100
当 期 純 利 益		5,926,338

## IV 令和3年度事業計画

### 1 指定管理業務

指定管理業務等の実施にあたり、多岐に亘る施設・業務に関し、長期的視点に立った効率的な管理運営を実施するとともに、管理運営業務における改善の提案を積極的に行う等、港湾利用者の立場に立った利便性の向上を図るため、下記の基本方針を定め、推進する。

- これまで培った経験やノウハウ・高い技術力を業務に活かすことにより、経費の削減に努めるとともに、利用者の立場に立った安全・確実・迅速なサービスを提供する。
- 各埠頭の現状、多種多様な港湾施設の設置目的や特徴及び利用実態などを踏まえて、施設の有効活用に努める。
- 人材の育成を強化するとともに、施設利用に係るマニュアル化を推進することで、効率的で質の高い管理運営と施設の平等利用に努める。
- 日常の事故防止に向けて、安全対策を徹底する。
- 電気機械設備の予防安全や災害時の復旧対策等を充実することにより港湾物流の定時性を確保できる安全安心な港づくりを目指す。
- 関係諸法令を遵守するとともに、高い倫理観を持った職員を育てることで、個人情報の適切な管理など、コンプライアンスの徹底に努める。

### 2 自主事業

今期、自主事業の拡大に務めた結果、下関市のガントリークレーンの保守点検や、徳島小松島港のガントリークレーンワイヤーロープ取替工事等を実施した。

指定管理者制度については、経費の削減、サービスの向上等、これまで以上に企業努力が求められていることから、安定した経営基盤を維持していくために、自主事業の拡大や組織体制、業務執行体制の強化を図る。

また、これまで蓄積したノウハウを生かし、様々なケースに即応していく体制を維持するためには、技術の継承、優秀な技術者の育成はもとより、協力会社との連携などが必要であるため、引き続き、以下の取組みを推進する。

○複数の協力会社との連携や、技術レベルの向上を図り、即応体制の強化に更に取り組む。

○技術職に従事する職員に対して専門講師による教育プログラムを施し、早期戦力化を図る。また、優秀な人材の育成を行うために必要なOJTによる教育プログラムの強化や、専門機関での知識習得に向けたOFF-JTを更に強化し、常に最新技術に対応できるよう、技術レベルの向上に取り組む。

3 主要な事業内容（令和3年6月1日現在）

事業別	部門別	業務内容
受託事業	港湾施設指定管理業務	電気・機械設備等の保守点検業務
		建築物等の保守点検業務
		消防用設備の保守点検業務
		浄化槽の維持管理業務
		クレーン・可動橋等機械設備の性能維持業務
		使用許可申請書の受付、端末機の入力、使用許可書の交付・発送等に関する業務
		使用料の算定、納入通知書の発送、催促状発送等に関する業務
		埠頭内調整業務
		施設利用者等からの要望及び苦情等に関する業務
		施設の管理業務（夜間入港・警備・し尿処理・除草等）
		施設の定期及び臨時巡回、指導等に関する業務
		緊急時の対応業務
		補修依頼書の作成業務
		水道管の分岐承諾に関する業務
	事務所等の管理業務	
	光熱水費等の支払業務	
	港湾施設管理運営業務	電気・機械設備・建築物・消防用設備の保守点検業務
	可動橋等機械設備の性能維持業務	
	港湾施設の巡回・監視及び施設の使用許可、収入調定等に関する業務	
	ソーラス条約による港湾保安対策用電気設備の保守点検業務	

自主事業	経営委任施設管理運営業務	田野浦埠頭における燐鉱石揚積に関する業務
	船舶給水販売業務	船舶で使用する水道水の販売 (北九州市上下水道局許可事業)
	若松月極駐車場業務	月極の賃貸駐車場
	新門司マリーナ施設運営業務	プレジャーボート、ヨットの艇置保管及び管理 運営、クラブハウスのテナント賃貸
	田野浦埠頭荷さばき施設管理業務	田野浦埠頭荷さばき施設の管理業務
	リサイクルポート施設運営業務	循環資源取扱荷さばき地の管理運営
	その他業務	他港でのガントリークレーンの保守点検や業者の依頼による技術助勢等

## V 令和3年度予算

### 予定損益計算書

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日 (単位：千円)

科 目	金 額	
(営業損益の部)		
1 営業収益		
[受託事業]		
指定管理業務収入	444,139	
港湾施設管理運營業務受託料	71,000	
[自主事業]		
燐鉱石業務収入	90	
船舶給水収入	6,500	
駐車場収入	7,560	
マリーナ保管料	34,000	
マリーナテナント料	12,663	
マリーナ施設利用料	4,200	
田野浦埠頭荷さばき施設収入	6,779	
リサイクルポート施設収入	909	
その他業務収入	7,940	595,780
2 売上原価	266,856	266,856
3 販売費及び一般管理費	315,725	315,725
営 業 利 益		13,199
(営業外損益の部)		
1 営業外収益		
受取利息	5	
雑収入	354	359
2 営業外費用		
支払利息	0	0
経 常 利 益		13,558
3 特別損失	0	
税 引 前 当 期 純 利 益		13,558

## VI 役員名簿等

### 1 役員名簿

令和3年7月1日現在

役職名	氏名	備考
代表取締役社長	上田 浩	北九州埠頭株式会社
専務取締役	片山 久夫	北九州埠頭株式会社
取締役	辻 誠治	北九州市港湾空港局長
〃	尾崎 浩二	太平洋セメント株式会社 九州支店 セメント営業部 部長
〃	三善 顕	三菱マテリアル株式会社 九州工場 事務部 部長
〃	真弓 真一	北九州埠頭株式会社 統括部長
監査役	福島 伸幸	太平洋セメント株式会社 九州支店 業務部 部長
〃	泥谷 智徳	小野田化学工業株式会社 門司工場 工場長

2 市との特命随意契約の状況（令和2年度実績）

市からの特命随意契約による委託の状況			左のうち外郭団体からの再委託の状況				
委託業務名	委託金額 (千円)	特命理由	再委託の 業務内容	委託 金額 (千円)	契約相手	契約方法	特命随意契約の 場合その理由
北九州港港湾 施設等管理運 営業務	73,937	公募を実施したものの応募者がなく、他に業務を遂行できる者がいないため	門司地区上屋外 消防用設備点検 業務委託	210	鶴原消防 設備株式 会社	随意契約 (見積合せ)	
			国際海運会館消 防用設備等保守 点検業務委託	77	有限会社 米山商会	随意契約 (見積合せ)	
			地蔵面外公衆便 所維持管理業務 委託	880	株式会社 ホクエイ	随意契約 (見積合せ)	
			太刀浦・新門司 地区外港湾施設 清掃業務委託	963	太刀浦埠 頭株式会 社	随意契約 (見積合せ)	
			西海岸・大里地 区外港湾施設清 掃業務委託	660	株式会社 広吉環境 開発	随意契約 (見積合せ)	
			太刀浦第1受電 所保護継電器試 験外業務委託	94	満井電気 計測株式 会社	随意契約 (見積合せ)	
			新門司4号可動 橋ディーゼルエ ンジン発電機点 検業務委託	97	機電サー ビス	随意契約 (特命)	発電機メーカーの指定 サービス工場である当 該事業者でなければ本 業務の履行ができない ため。
			門司地区除草外 業務委託	2,137	有限会社 入江技建	随意契約 (見積合せ)	
合 計	73,937		合 計	5,118			

